

ii-oneクライミングスタジオ 注意事項

クライミングスタジオ共通

- 登る際は、先に登っている人の登る方向を確認・注意して登って下さい。
近い場所で同時に登るのは壁内で衝突・墜落時に接触事故になります。
同じ壁に2人以上は登らないでください。
順番に登るなど、コミュニケーションを取りながら登って下さい。
- クライミングエリア内すべての人が、周囲の状況に常に気を配っていなければ
単独ではなく他者を巻き込んだ事故(他人との接触等)も起こります。
自分の行動によって自分や他人がケガをしないように、そして他者の行動によ
って自分がケガをする事がないように注意が必要です。
各自が自己責任において身の安全を確保するよう努めて下さい。
- ホールドの緩みや壁の強度等、破損には十分注意していますが、性質上
完全に防ぎきることはできません。万が一ホールドの緩み(回転する等)や
壁・マットに異変を感じた場合は速やかにスタッフ迄お申し付け下さい。
- 爪が伸びすぎた状態で登ると大変危険です。
受付に爪切りがありますので必要な方はスタッフまでお声掛けください。
- 長い髪の方は結んでください。視界の妨げやホールド・ビレイ機に髪の毛
が巻き込まれる危険性があります。
- 裸足・外靴でのクライミングは禁止です。
- 自分のレベルを超えたクライミングは事故に繋がる可能性があります。
決して無理はしないで下さい。
- ホールドの穴に指を入れしないで下さい。
- チョークは基本液体チョークのみ使用可能です。
但し、フットサルコートの利用状況に応じて粉チョークも使用可能な場合が
ありますのでスタッフまでお声掛け下さい。



ボルダリング・スラッグラインエリア

- マットの上には座らないでください。
登っていない時はマットの外で待機し、登っている人の後ろや下には
入らないでください。また、マットの上に荷物などは置かないようにして下さい。
- マットへの着地は、可能な限り安全な位置まで下りてください。また、下に人や
障害物がないかを確認し、膝のクッションを使い両足で着地して下さい。
- 安全確保の為に厚みのあるマットが敷いてありますが、落ちた時の体勢の取り
方ひとつ間違えればケガ(特に足首の捻挫・骨折など)をする場合があります。
背中や胸から着地すると危険です。また、マットと壁の間には隙間があり、
そこに墜落した場合や、マットを飛び越えるような墜落をした場合は衝撃が吸収
されません。
■ スラックラインを使用する際は、スタッフまでお声掛け下さい。
- スラックラインとボルダリングは同時に行わないで下さい。
お互いに声を掛け合って、順番にご利用下さい。

オートビレイエリア

- カラビナの付け忘れがないよう、登る際は毎回必ず確認して下さい。
- ハーネスは正しく着用できているか、緩みや捻じれがないかをしっかり確認して下さい。
- 最初はルートに関係なく、ある程度の高さまで登り、降りる練習をして下さい。
いきなり高い所まで行くと、恐怖心で降りられなくなる事があります。
- 降りる際はオートビレイ機の真下まで移動してから降りて下さい。
ゴールした後や途中でやめる時も、なるべく真下まで移動する事を心掛けて下さい。
- 降りる際は椅子に座るイメージで、腰を落として降りると安全です。また、体が壁やホールドに
当たると擦り傷などの原因になります。当たりそうな時は足で軽く壁を蹴って降下して下さい。
- 下で待つ人はクライマーの降下地点から離れた位置で待機して下さい。
また、クライマーは降下地点に人や障害物がないかを確認して下さい。
- 一定のスピードで巻き上げる為、スピードクライミングとしての使い方はしないで下さい。
- オートビレイ機の体重制限は10kg～150kgです。身長は100cm以上が対象になります。